

# Information ご利用案内

★プラネタリウム投影開始時刻(1回の投影時間は、約50分間です。)

	第1回目	第2回目	第3回目	第4回目	第5回目
平日	9:50 (団体予約がある時のみ)	11:10	13:10	14:30	15:50
土・日・祝日	9:50	11:10 (キッズプラネタリウム)	13:10	14:30	15:50

※学校長期休暇中の平日は、第1回目9:50も投影します。

★休館日

毎週月曜日・第2火曜日・年末年始。  
ただし、月曜日・第2火曜日が国民の休日・祝日となる日は開館し、翌日が休館となります。

★開館時間

午前9時30分より午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

★観覧料

	大人(高校生以下無料)
一般	700円
団体(30人以上100人未満)	630円
団体(100人以上)	560円
年間パスポート	2,000円

※年間パスポートは購入時から1年間、何度でもご利用いただけます。  
※コンサートイベント等には別途料金が必要な場合があります。  
※高齢者割引、障害者割引を行っています。

★駐車場

普通自動車・マイクロバス(2時間まで):200円(約90台)(以降1時間超ごと100円)・バス(1回):1,500円(大型バス8台)

★施設概要

日本標準時の基準となる東経135度子午線の通過地に建てられた「時と宇宙の博物館」です。プラネタリウムは現役では日本最古、稼働期間も20,000日を超え日本一です。



- JR 明石駅下車 東へ1km(徒歩約15分)
- 山陽電車丸前駅下車 北へ約0.2km(徒歩約3分)
- 車では国道2号線丸前交差点から北へ約0.2km
- 第二神明道路 大蔵谷 I.C. から南西へ約3km
- 明石海峡大橋からは垂水出口を左折し、約6kmで国道2号線へ。国道2号線を西へ約4km(約20分)

## 明石市立天文科学館

http://www.am12.jp/  
携帯サイト http://www.am12.jp/i/  
ツイッター @jstm135e  
〒673-0877 兵庫県明石市人丸町2-6  
TEL.078-919-5000/FAX.078-919-6000  
e-mail: info@am12.jp



# 星空のレシピ

VOL. 330

2016

5月号

★ 星空のレシピ VOL.330 平成28(2016)年5月1日発行(隔月刊)  
★ 発行/明石市立天文科学館 〒673-0877 明石市人丸町2-6 TEL.078-919-5000

明石市立天文科学館 広報誌「星空のレシピ」 時と宇宙を88倍楽しむお料理MOOK



特集: 星の友の会 会員募集!



星の友の会 野外天体観測会 (2015年8月 西はりま天文台)



セイコーエムブレム  
ブランド誕生から、四半世紀を超え  
“新たな一歩へ”  
大人の空間にむけた新しいスタイルをご提案。

衛星電波クロック

衛星電波クロックとは、上空はるか2万kmの宇宙空間を周回するGPS衛星の時刻情報を受信し、自動的に時刻を修正する電波クロックです。  
スワロフスキー®クリスタル使用 スワロフスキー®はSwarovski AGの登録商標です。

SEIKO

お問い合わせ先: セイコークロック株式会社 お客様相談室 0120-315-474 (9:30~17:30 土・日・祝日を除く) http://www.seiko-clock.co.jp





# 星の友の会 会員募集!

ほしのとものかい

「星の友の会」は、星や天体、宇宙に関することについて知りたいなど、天文知識の向上と親睦を図ることを目的とした会です。明石市立天文科学館を拠点として子どもから大人まで楽しく活動しています。

## 星の友の会 行事



### 1. 会報「135°の星空」の発行 (年4回)

星の友の会の行事やサークル活動の報告、天文現象の情報等について、会員の皆さんの記事を掲載して発行しています。



### 2. 例会開催 (年4回)

「こんな天文台・科学館に行ってきました」「こんな天体を見ました」など、さまざまなテーマで発表や報告をおこなう、会員のみなさんの交流の場、情報交換の場です。平成27年度第3回の例会では、「はやぶさ2」と「あかつき」の近況についての館職員の話の他、「飛騨天文台のお話」「星を探す本これくしょん」など、3人の会員からの発表がありました。



### 3. 星の友の会・天体観望会 (年2回)

星の友の会だけの天体観望会です。16階観測室の40cm反射望遠鏡を使って天体を観望します。平成27年度は残念ながら夏・冬とも天候にめぐまれませんでした。天候にめぐまれた平成26年度には、金星や木星、すばる、オリオン大星雲、M37 (散開星団) などを楽しみました。



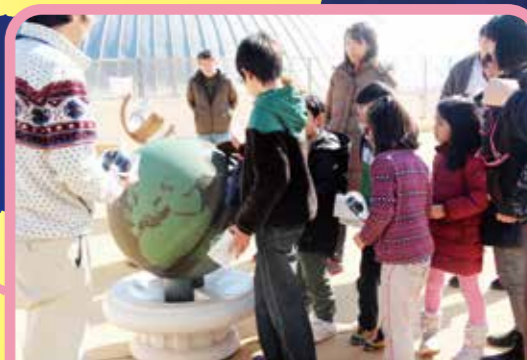
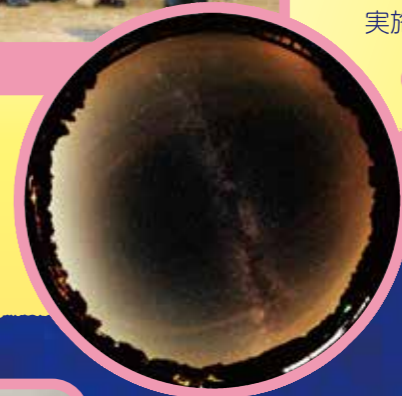
2015年12月 高原の宿ロマンツェ

4.

### 4. 野外天体観測会 (年2回)

1泊2日、もしくは日帰りで実施します。昨年は、8月に西はりま天文台(佐用郡)、12月に高原の宿ロマンツェ(岡山県和気郡)にて1泊2日の野外天体観測会を実施しました。

2015年8月 西はりま天文台の星空



ほしとも☆キッズ135勉強会 昨年度の様子



### 天体写真の画像処理勉強会

パソコンの画像処理ソフトを使用して、天体写真の見栄えの調整を中心に学習する勉強会をおこなっています。

### うちゅうかがくサークル

昨年度まで「ほしとも☆キッズ135勉強会」として、子どもから大人までが楽しめる手作りの勉強会を企画、開催していました。

平成28年度からは、「うちゅうかがくサークル」と名前を変え、テーマを決めて実験や工作を主体とした勉強会をサークル内で実施します。また、従来の募集型勉強会も開催します。

### 5. サークル活動

友の会の有志が集まって活動しています。

### 子午線文化研究会(子午線同好会)

東経135度日本標準時子午線に関連する文化や子午線についての調査・研究を行っています。勉強会では、昨年10月に東経135度子午線が通過する日本最南端の和歌山県友ヶ島に行きました。



2014年8月 バンドー神戸青少年科学館での様子





# 会員の声



## 会員が選ぶ 良かった・楽しかった 星の友の会 イベント Best5

※2016年2月実施のアンケートより(回答数40)

**1位** 天ボラ活動ができる  
同率1位

友の会からまた一步踏み込んで天ボラ活動をすることができ、お客さまとも☆を通じた話でつながることができます。

**1位** 広報誌「星空のレシピ」や イベント案内が届く  
同率1位

遠方な事と、仕事の関係でサークルや、例会などにはなかなか参加できませんが、なかなか行けない分、星空のレシピが届くことが楽しみです、オリジナルグッズのプレゼントもいつもワクワクしています。

**3位** 野外天体観測会

野外天体観測会は本当にオススメです。天体好きの皆さんに色々なことを教えていただきながら、一晩中空を眺めるのは本当に楽しいです。

**4位** 会報「135°の星空」の発行  
**5位** 例会

会報誌で、他のボランティアの方の活動を知ることができ、広報誌は天体、宇宙の話がわかりやすく書かれていておもしろいです。

## 1. オススメポイントや 入会して良かったこと

●星好きの人たちとたくさん知り合えたこと。

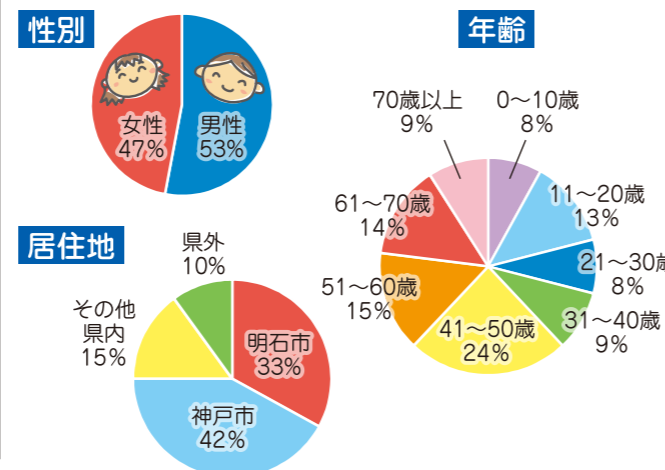
●星好きの方々とお友達になって、何でも教えていただけるので楽しいです。

●子どもの頃から、その道にとっても詳しい大人たちの話を聞くのがとても楽しかったです！星の友の会には優しい先生がたくさんいらっしゃいます。

●会員の皆さんの人柄の良さ。好きなことがある人の面白さに気軽に触れられるところ。星や子午線に詳しくても詳しくなくても、一緒に楽しめる。素敵なもの、面白いものは、一人だけみたり知ったりするよりも、たくさんの方と知った方が、もっと面白い！

## 2. どんな人たちが 会員になっているの？

会員数	個人会員	家族会員	のべ会員数
214	168名	46家族	162名



●星の友の会のおススメポイントは、男女問わず、子どもからシニアまで、そして天文の知識も初心者から上級者まで幅広く楽しめることです。入会(家族会員)して良かったことは、親子で天文現象を楽しめたこと、多才な方々にたくさん出会えたことです。明石のまちと言えば、「明石市立天文科学館」。遠くても年に何度も明石に足を運ぶきっかけとなっています。

# 会員募集のご案内



## 1. 会費

**個人会員** 対象 小学4年生以上  
年会費 2,000円(10月1日以降の入会は1,000円)  
※小学生が個人会員として入会する場合には、保護者の承諾が必要です。

**家族会員** 対象 ご家族の方(※同居している家族に限ります。)  
年会費 3,000円(10月1日以降の入会は1,500円)

※有効期間:平成28年度会員は、平成29年3月末まで



## 2. 会員特典

- ★星の友の会行事参加時の入館料無料
- ★天文科学館の天体観望会(特別天体観望会を除く)の参加費無料
- ★年間の来館日数に応じてオリジナルグッズ等記念品をプレゼント(5回・10回・15回/通常開館時のみ)
- ★友の会会報「135°の星空」の発行・配布
- ★館広報誌「星空のレシピ」の配布、イベント等も随時お知らせいたします。
- ★天文科学館ボランティア「天ボラ」に参加できます。
- ★遠足部や子午線文化研究会などのサークル活動に参加できます。



野外天体観測会や星友天体観望会、例会など楽しい催しもたくさんあります!

くわしくは2、3ページ参照

## 3. お申し込み方法

- ★ご来館の場合  
当館1階受付にて、入会申込書にご記入のうえ、年会費を添えてお申し込み下さい。
- ★郵便振替の場合  
郵便局の窓口を設置してある振込用紙に、次の必要事項をご記入のうえ、年会費を振り込んでください。会員証をお送りします。
- ★記入必要事項  
通信欄に次のことを記入してください。
  1. 住所
  2. 入会される方全員の氏名と年齢
  3. 電話番号
  4. 会員種別(個人会員・家族会員)
- ★振込金額  
個人会員2,000円(10月1日以降の入会は1,000円)  
家族会員3,000円(10月1日以降の入会は家族会員1,500円)
- ★口座番号  
00970-8-13882
- ★口座名称  
明石市立天文科学館 星の友の会

※入会の際には、会則をご確認の上、お申し込み下さい。会則は、ホームページまたは天文科学館にて確認できます。一度納入された会費は返還いたしません。ご了承下さい。



# 天文科学館ボランティア (天ボラ)大募集!

時や宇宙を学び・楽しむことのできる展示室や、キッズルーム、天体観望会を舞台に、ボランティア活動をしてみませんか。

現在90人ほどの  
天ボラが  
活動しています!



## 1. 「天ボラ」3つのグループ

### 展示解説グループ

3階展示室で「太陽系儀」や「月の満ち欠け」の展示を中心に展示解説をおこないます。

### キッズルームグループ

4階キッズルームで、絵本の読みかかせなど、子ども達が楽しく遊べるようにお世話をします。

### 天体観望会グループ

観測室の一般公開や天体観望会で、望遠鏡の操作や説明をします。

## 2. 「天ボラ」への参加方法

### ★「星の友の会」への入会

天ボラで活動するためには、星の友の会に入会していただく必要があります。  
※ボランティアだけではなく友の会活動もおとして、交流を深め、より活動を広げていくためです。

### ★天文科学館が実施する研修を受講

※研修内容は、「天文科学館の概要」「ボランティア制度と趣旨」「館の展示について」などの基礎研修(1日)と、実践研修(1日)があります。  
※天体観望会グループで活動される場合は、基礎研修と実践研修とあわせて、天体観望会グループ研修(1日)を受講してください。  
※研修会は事前申し込みが必要です。前日までに、お電話にてお申し込みください。研修会の日程は、当館のホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

### 天ボラで活動するまでの流れ

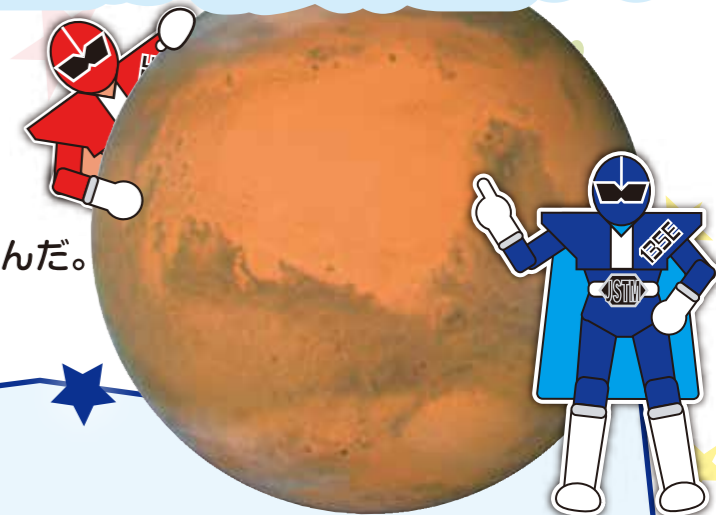
- 1 「星の友の会」へ入会
- 2 天ボラ登録申請書を提出
- 3 研修会参加
- 4 研修終了後グループ登録
- 5 活動開始

## 3. その他

- ★年齢制限 : ボランティアに参加できる年齢は16歳(もしくは高校生)以上です。
- ★活動日 : 活動日は、土・日・祝日および夏休み期間等や繁忙期です。
- ★活動費 : 1日の活動ごとに活動費(1,000円)を支給します。



今年、火星が2年2か月ぶりに地球に接近するんだ。  
5月31日に一番近づいて、明るく輝いて見えるぞ。



**Q** 火星は、どうして、2年2か月ごとに地球に接近するの?

**A.** 火星も地球と同じく太陽の周りをまわる惑星なんだ。地球は365日で一周、火星は687日で一周しているぞ。1年たつと、地球は元の位置に戻るけど、そのころ、火星はまだ半分しかまわっていない。2年たつて地球が再び元の位置に戻るころには、地球と火星の距離はずいぶん近づき、そして2年2か月後に、地球と火星が再び接近するんだ。

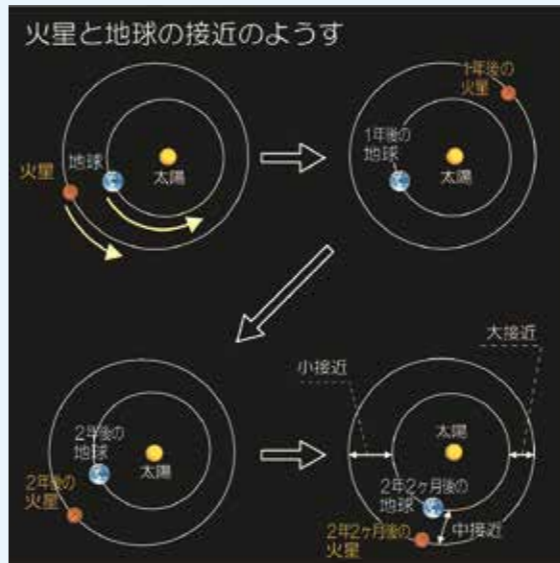
**Q** 空でどんなふうに見えるの?

**A.** 火星は、空で赤く輝いて見える。これは火星の地面に、さびた鉄のようなものが含まれていて赤茶色だからなんだ。地球と火星との距離が近くなると、火星は、より明るく輝いて見えるんだ。明るくなると、赤い色も、よりわかりやすくなるぞ。

火星の近くには、さそり座の一等星アンタレスや土星も見えるぞ。

シゴセンジャー レッド

火星とアンタレスは、8月24日にもっとも近づいて見えるぞ。



接近ごとに地球と火星の距離は違うんだ。今回は中接近だけど、大接近の時にはもっと明るく見えるぞ!

火星が接近して赤く輝くだぞ〜! レッドと見分けがつかんぞ〜! 火星かレッドか? アンタダレデス?

ブラック星博士



# おしながき 今夜の星空献立表

## はるかなる 春の天体

春の夜空のメシエ天体(星雲・星団・銀河)を紹介します。観察にはできれば8cm以上の口径の望遠鏡があると良いでしょう。春の空には銀河が非常に多く、特におとめ座付近には無数の銀河を見ることができます。比較的明るく観察しやすいものをまとめました。



**M3**  
球状星団 3万光年  
(りょうけん座)



**M51**  
銀河  
通称:子持ち銀河  
2,100万光年  
(りょうけん座)



**M64**  
銀河  
通称:黒目銀河  
1600万光年  
(かみのけ座)



**M83**  
銀河  
1600万光年  
(うみへび座)



**M97**  
惑星状星雲  
通称:ふくろう星雲  
1800光年  
(おおぐま座)



**M104** 銀河  
4600万光年  
(おとめ座)



写真:国立天文台天文情報センター提供

**M106** 銀河  
2100万光年  
(りょうけん座)



〈広告〉

「星空のレシピ」に広告を掲載希望の業者の方は、明石市立天文科学館までご連絡ください。※内容によっては、掲載できない場合もあります。

感動! 夜、空を双眼鏡で見たら、  
目だけで見るときよりも  
ずっとたくさんの星があった。

**感動・視体験  
コーワ双眼鏡**

Kowa Binoculars

YFseries シリーズ  
SVseries シリーズ  
BDseries シリーズ

興和光学株式会社

大口径82mmフローライトクリスタル搭載  
大型双眼望遠鏡

HIGHLANDER PROMINAR  
32×アイピース付属  
¥680,000(税別)

コーワは60年以上にわたり光学機器を製造する双眼鏡のトップブランド企業です

大阪営業  
〒541-8511 大阪府大阪市中央区淡路町2丁目3番5号

http://www.kowa-prominar.ne.jp  
TEL:06-6204-6912

## ★ イベントレポート

### 手作り国際宇宙ステーションのライトアップ 1月27日(水)



沢池小学校の5年生児童が、図工科で作成した国際宇宙ステーション(ISS)のお披露目会を行いました。JAXAの大川拓也さんを講師に招き、宇宙開発にまつわる話や、子ども時代のエピソード、一人一人の質問への答えを聞く中で、宇宙への興味関心が高まりました。そして、細部まで心を込めて作ったISSがライトアップされると幻想的な姿が浮かび上がりました。みんなに見守られる中、沢池小学校5年生87名の夢を乗せた3基のISSが、プラネタリアムの宙に旅立っていきました。

お昼におこなった「YENA☆とあそぼう Let's Sing & Dance」では、明石のアイドルグループYENA☆やシゴセンジャーと一緒に簡単な手遊びをしたり、YENA☆の曲の振り付けを練習し、最後に皆で一緒に歌って踊ったりしました。夕方には6回目に特別投影「YENA☆と星空散歩」を行い、YENA☆の楽曲をBGMに鈴木解説員とYENA☆が掛け合いをしながら星空を案内しました。どちらも子どもから大人まで、楽しくバレンタインデーを過ごしていただきました。

### バレンタイン特別企画 2月14日(日)

お昼におこなった「YENA☆とあそぼう Let's Sing & Dance」では、明石のアイドルグループYENA☆やシゴセンジャーと一緒に簡単な手遊びをしたり、YENA☆の曲の振り付けを練習し、最後に皆で一緒に歌って踊ったりしました。夕方には6回目に特別投影「YENA☆と星空散歩」を行い、YENA☆の楽曲をBGMに鈴木解説員とYENA☆が掛け合いをしながら星空を案内しました。どちらも子どもから大人まで、楽しくバレンタインデーを過ごしていただきました。



### 特別展シンポジウム「明月記と超新星」 2月20日(土)



特別展「射場保昭」展」初日にオープニングセレモニーを行い、冷泉貴実子さんと竹本修三京大名誉教授が挨拶されました。2月20日にはシンポジウム「明月記と超新星」を子午線ホールで開催し、日本の古典「明月記」を紹介したアマチュア天文家・射場保昭の功績や明月記と最新天文学の関係をテーマに、竹本修三・京大名誉教授、冷泉為人・冷泉家時雨亭文庫理事長、小山勝二・京大名誉教授の各先生方による講演とパネルディスカッションが行われました。150名の参加があり、当日のアンケートからも、各分野の第一人者の講師陣からの知見を得て天文学への興味関心が刺激されたことが伺えます。学術的な内容ながら随所で笑いも起こる大変楽しく有意義な会となりました。

### 夕焼けパンダ見てみ隊(春季) 3月1日(火)

太陽とパラボラアンテナが重なり現れる「夕焼けパンダ」を観察するイベントを実施しました。空は一面雲に覆われており、太陽が切れ間から少しだけ顔を出したものの夕焼けパンダを見ることはできませんでした。その様子はNHKでテレビ放送もされました。次回は秋季見てみ隊を募集する予定です。お楽しみに!



翌日は晴れたもののずれてしまいパンダは見られず

## 学校・園と力を合わせてこんなことをしています!

天文科学館では、子どもたちの「夢」と「学び」を育むために学校・園と連携した事業や研修会を実施しています。その取り組みをご紹介します。

### 平成28年度 学校団体等の利用について

新年度になりました。幼稚園・保育園対象のプラネタリアム幼児投影、小・中学校対象プラネタリアム学習投影と、その他学校園との連携をご案内します。

#### 幼稚園・保育園対象 プラネタリアム幼児投影

たなばたアワー(6月上旬～7月上旬)、おつきみアワー(9月上旬～10月下旬)、クリスマスアワー(11月下旬～12月下旬)の投影があります。また、上記の時期以外のキッズプラネタリアムの予約も受け付けています。



#### 小・中学校対象 プラネタリアム学習投影

・小学校1、2年生(内容は学年にあわせて投影します)  
・小学校3年生「日なたと日かげ」  
・小学校4年生「星と月」  
・小学校5年生「地球とお天気」  
・小学校6年生「月と太陽」  
・中学校「太陽系と宇宙」  
・総合的な学習、イベント等でのプラネタリアムドーム活用  
それぞれの投影内容は、随時相談させていただきます。



#### 学校園との連携

・移動式プラネタリアム  
……体育館及び武道場でドームを膨らませ、星を見ることが出来ます。  
・出前天体観望会  
……市内学校の運動場及び野外活動、自然学校等で天体観望会を実施します。  
移動式プラネタリアム、出前天体観望会は、随時相談させていただきます。

幼児投影、学習投影も4月上旬に近隣各学校園に案内を送付しています(案内をうけとっていない学校園で、希望される場合は送付致します)。時期によっては混み合うこともありますので、早めの予約をおすすめします(たなばたアワーについては予約開始日時が決まっています)。各学校園のご利用、お待ちしております。



# 5月・6月のイベント案内



休館日のお知らせ	4	5	6
	日月火水木金土	日月火水木金土	日月火水木金土
赤文字：開館	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11
青文字：休館	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18
	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25
	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31	26 27 28 29 30

### 天体観望会の申し込みについて

◆観望料 1人 300円 ◆電話番号 (078) 919-5000  
 ◆申込方法 開催日の1ヶ月前から前日までに電話又はHPからお申し込み下さい。◆定員 100名  
 代表者の氏名・参加人数・電話番号・駐車場の利用の有無をお知らせ下さい。駐車場ご利用の場合は別途200円必要です。

## プラネタリウム一般投影

解説員が、その日の夜に見える星空と、期間ごとのテーマにそったお話をわかりやすく紹介します。



### ★火星接近中!

5月1日(日)～5月31日(火)  
 火星は2年2か月ごとに地球に接近します。今年は火星と地球が接近する年で、5月31日に最も接近します。接近するにつれ、火星はより明るく、赤く輝いて見えます。この期間は、火星についてお話しします。

### ★1年でいちばん短い夜

6月1日(水)～6月30日(木)  
 6月21日は夏至の日です。夏至の日は、一年で夜が最も短い日です。1日(24時間)のうち、夜は9時間30分ほどしかありません。この短い夜の空にも、春から夏にかけての星座など、いろいろな星を見つけることができます。この期間は、夏至の頃の夜空とともに、地球から見た太陽の動きについてお話しします。

## ★キッズプラネタリウム

幼児や小学校低学年を対象とした子どもむけプラネタリウムです。

### ★みなみのくにのふしぎなせいざ

4月29日(金・祝)～5月8日(日)  
 /5月21日(土)～5月29日(日) 土・日・祝 11:10～  
 南半球にある国では、どんな星座が見えるかな? 南の国の星空を探検してみよう!



### ★たなばたアワー

6月1日(水)～7月7日(木)  
 平日 9時50分～11時10分  
 土・日 11時10分～  
 ※6月10日(金)は「時の記念日」のため、たなばたアワーはありません。



たなばたの物語や、夏の星座、宇宙のお話をわかりやすくお話しします。

## 特別展

こうさか ひろみつ  
**★上坂浩光 天体写真展**  
 4月1日(金)～5月29日(日)  
 全天周映像「HAYABUSA - BACK TO THE EARTH -」の監督・上坂浩光氏が、撮影した天体写真をご紹介します。  
 アンドロメダ銀河©上坂浩光/HSC Project/国立天文台

**★時計のある風景写真展**  
 6月4日(土)～7月10日(日)  
 時の記念日にちなんで「時計のある風景写真コンテスト」が今年も開催されました。時の流れと人々の暮らし、自然との営みを感じさせる入選作品を展示します。

## 星と音楽のプラネタリウム

素敵な生の音楽と満天の星をお楽しみいただくプラネタリウム特別投影です。※整理券制

5月21日(土) 14:30～15:20  
 6月18日(土) 14:30～15:20

## こども天文教室

第3または第4土曜日の9:50～のプラネタリウム投影はこども天文教室です。最近の天文の話題やいろいろなテーマについて、天文科学館の学芸員が、小学4年生以上を対象に、わかりやすく解説します。

天文について深く楽しく勉強しましょう

5月21日(土)  
 6月18日(土)

4月	5月	6月
4月1日(金)～4月30日(土) 「宇宙に生命をさがす」	5月1日(日)～5月31日(火) 「火星接近中!」	6月1日(水)～6月30日(木) 「1年でいちばん短い夜」
	4月29日(金・祝)～5月29日(日) 「みなみのくにのふしぎなせいざ」	6月1日(水)～7月7日(木) 「たなばたアワー」
4月1日(金)～5月29日(日) 「上坂浩光 天体写真展」		6月4日(土)～7月10日(日) 「時計のある風景写真展」
4月16日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～) 木星、月(月齢9.0)	5月21日(土)【予約制】19:00～(受付18:30～) 木星、ミザール、アルコル	
	5月28日(土)・31日(火) ※時間は電話等でお問い合わせ下さい 火星最接近・観望会	
4月23日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】	5月21日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】	6月18日(土) 14:30～15:20 【当日整理券制】
	5月14日(土)・15日(日) 「シゴセンジャー 皐月(さつき) 場所」	
		6月10日(金) 「時の記念日」(無料開放)
4月23日(土) 9:50～10:40 【事前申込なし】	5月21日(土) 9:50～10:40 【事前申込なし】	6月18日(土) 9:50～10:40 【事前申込なし】

略号 プラネタリウム一般投影 キッズプラネタリウム 特別展 観望会 プラネタリウムコンサート 星と音楽のプラネタリウム こども天文教室 季節イベント

## その他のイベント

### ★軌道星隊シゴセンジャー 皐月(さつき) 場所

キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!

5月14日(土)・15日(日)

- 11時10分～12時00分  
キッズプラネタリウムにシゴセンジャーとブラック星博士が登場!
- てんもんクイズラリー  
「シゴセンジャー&ブラック星博士のクイズに挑戦」



### ★時の記念日

6月10日は「時の記念日」であり、天文科学館の開館記念日でもあります。天文科学館では6月10日(金)に無料開放します。

※当日は館内・駐車場ともに、大変混み合うことが予想されます。出来る限り公共交通機関をご利用ください。  
 ※当日はプラネタリウム各回定員300名で整理券制となります。

